

## Chapter 03: プロジェクト発進

福山は江田島と別れた後、〈SAMON〉のホームページ制作者を募った。通常であれば、ホームページ制作は100万円程度必要となるが、制作費を安価に抑えるため、福山は「クラウドソーシング」を活用することにした。クラウドソーシングはインターネットで外注先を探す仕組みである。要望を細かく提示し、できるだけ安価で引き受けてくれる人がいないか探した。

江田島はIMA検定の申込みを終え、友人や知人にコンタクトを取っていた。

二人が初めて会った日から1週間が過ぎた頃—  
福山は、江田島の店に電話を入れた。

### Chapter 03

#### 「プロジェクト発進」



もしもし、福山です。



福山さん! お久しぶりです。



その後、いかがでしょう。協力者集めは順調に進んでいますか?  
もし集まっていれば、一度伺って皆さんにお会いしたいと思ひまして。



今のところ10名程集めました。  
この地に住んでいない人が半数なので、  
全員揃っては難しいかもしれません。



いえ、無理にその場所に集合しなくても大丈夫ですよ。  
参加できない方は、LINE ビデオ通話などで参加して頂ければ  
お話はいくらでもできますからね。  
それでは、できるだけ多くの方が集まれる日を  
決めてまた連絡をください。



わかりました。すぐに調整します。

それからすぐ、江田島から日程が決まったとの連絡があった。  
指定の日、福山は再び砂丘の街を訪れた。



福山さん、お久しぶりです。  
こちらが私の友人で、この地を愛するメンバーです。

そこには、地場産品を生産している農業従事者や、メジャーとは言えないが漫画家  
デビューをしている人、ミュージシャン、市の観光課職員など、あらゆるジャンルの  
人が集まっていた。



故郷を大切に思っている方がたくさんいるとは素晴らしいですね。



皆もこの地に何か恩返しをしたいと思っていたようで、  
すぐに賛同してくれました。



さて、早速ですが皆さんにお願いしたいことがあり、  
お集まりいただきました。  
この地をもっと多くの方に知って頂くとともに、  
皆さんのビジネスや活動にもプラスになるようにしたいと考えています。  
そのためには話題が必要です。  
何か話題になりそうな計画や活動はありますか。

協力者は口々に意見を述べ始めた。  
大半が同じような意見を持っていた。  
同じ砂丘でも、日本で知られる有名な砂丘の街は毎年多くのイベントを開催している。  
更に、美術館もできて話題になっている。  
しかし、この地は日本三大砂丘の一つなのに殆ど話題がないという悲観的なものだ。

### Chapter 03

#### 「プロジェクト発進」